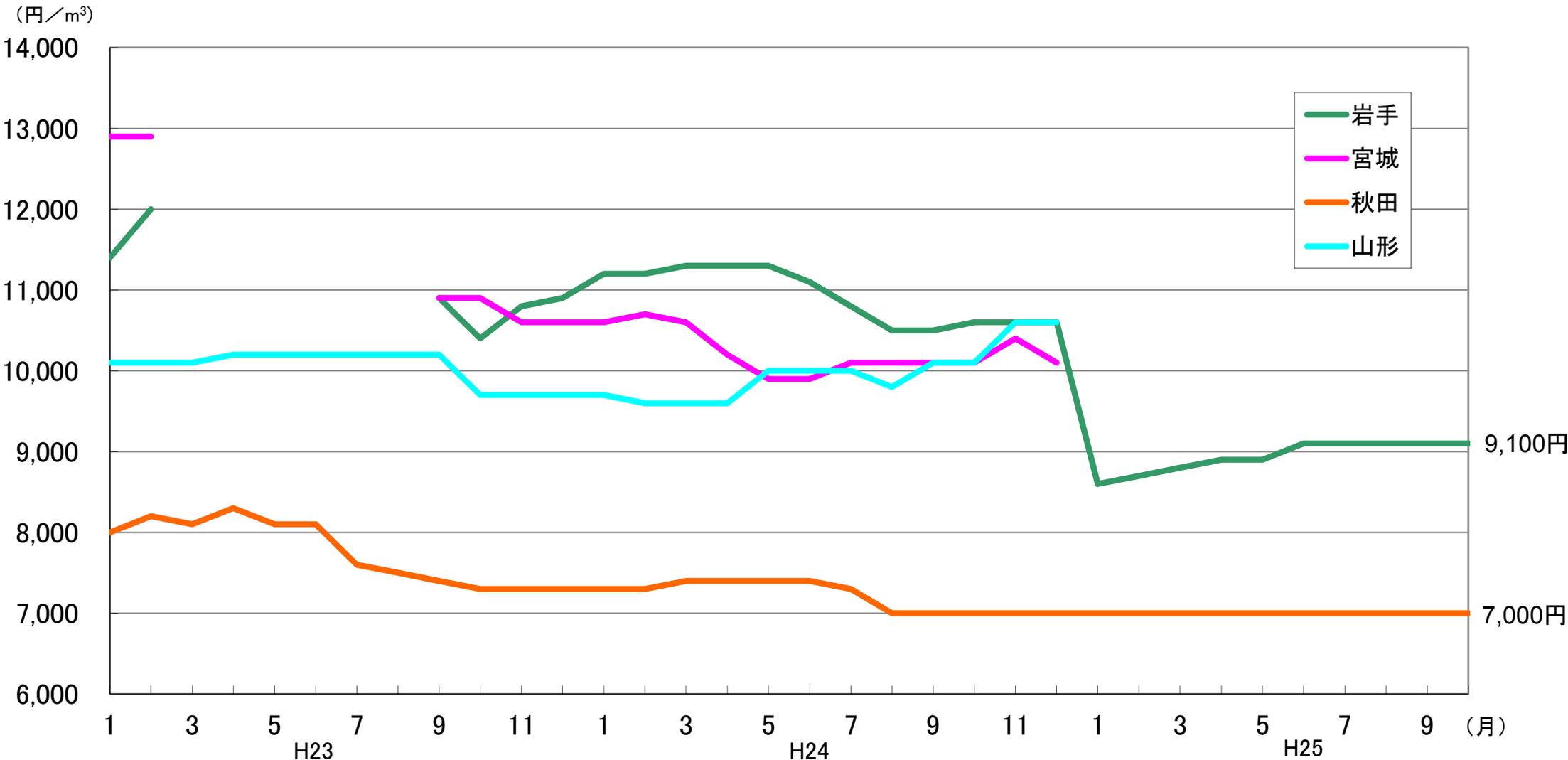


東北森林管理局管内の 木材価格等について

丸太価格の推移 (すぎ小丸太 3.65~4.00m、8~13cm、込み) (平成23年1月~平成25年10月)

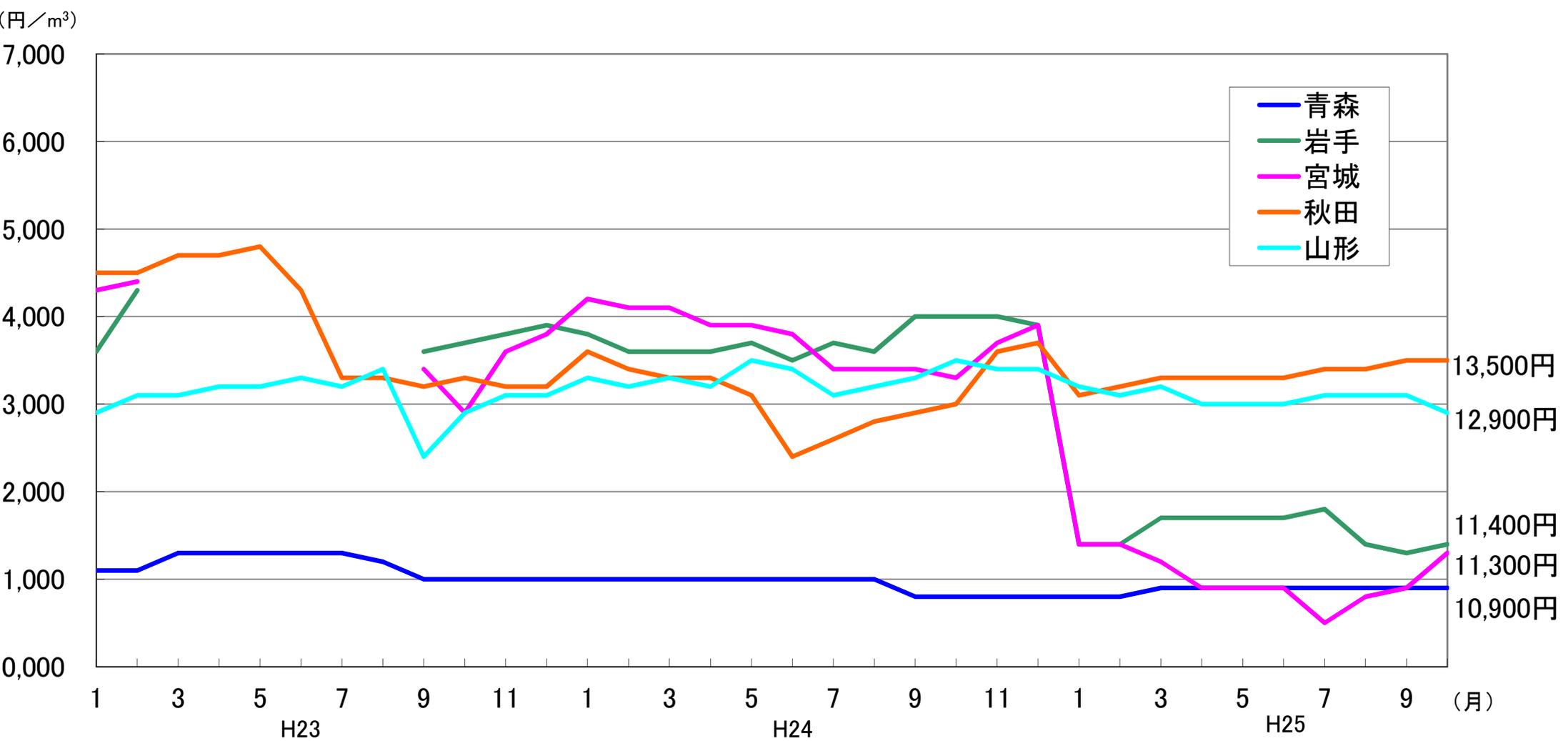
○ 岩手県・秋田県ともに保合状態が継続。



出典: 農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は工場着の価格。
 ※ 平成23年3月~8月は東日本大震災の影響で、岩手県、宮城県のデータは未取得。
 ※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

丸太価格の推移 (すぎ中丸太 3.65~4.00m、24~28cm、込み) (平成23年1月~平成25年10月)

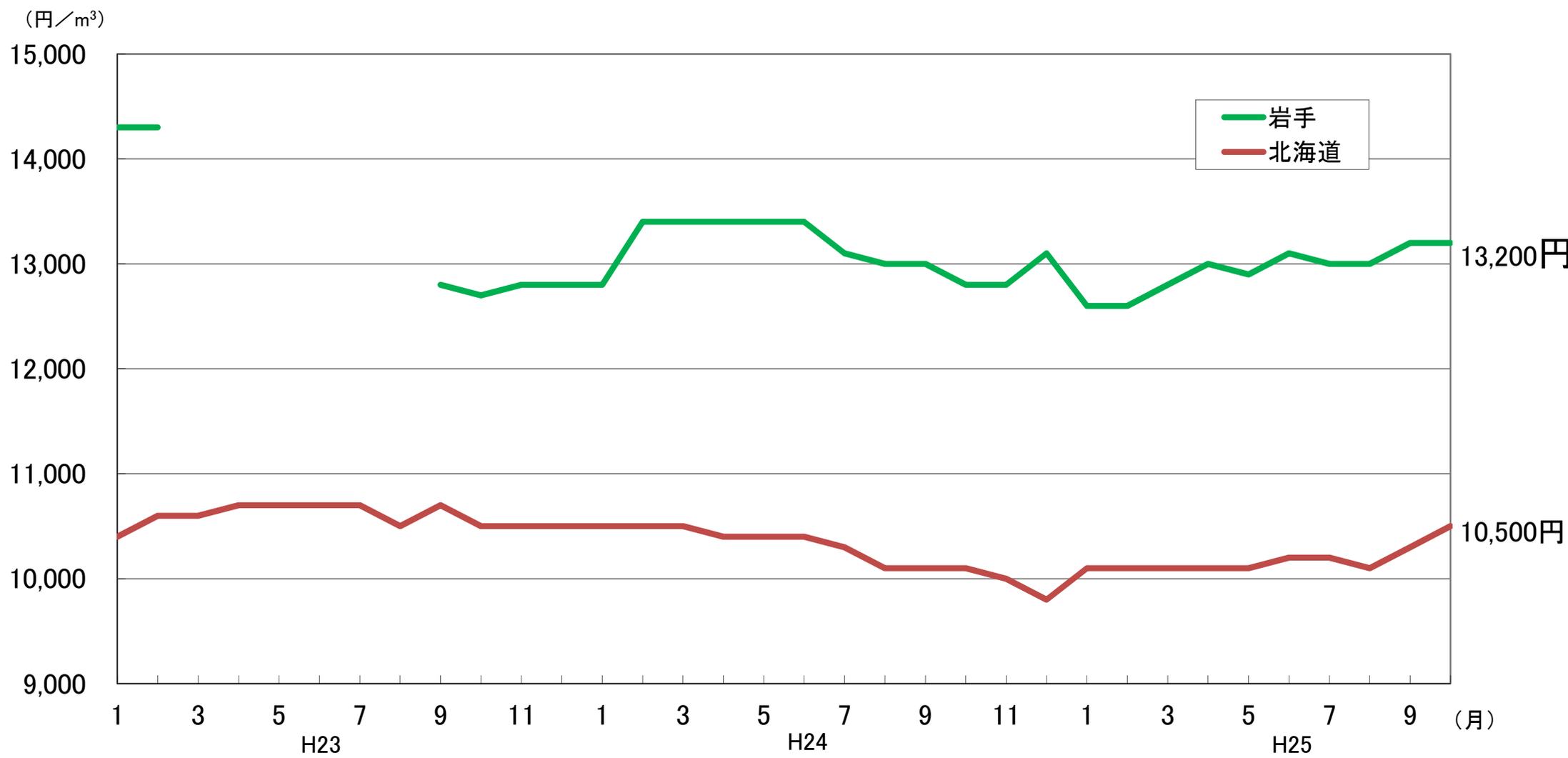
- 宮城県は平成25年7月に400円下落したが、その後10月までに800円上昇。
- 宮城県以外の各県は今年度8月以降、保合状態で推移。
- 青森県、岩手県、山形県の変動幅は小さい。



出典: 農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は工場着の価格。
 ※ 平成23年3月~8月は東日本大震災の影響で、岩手県、宮城県のデータは未取得。
 ※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

丸太価格の推移 (からまつ中丸太 3.65~4.00m、14~28cm、込み) (平成23年1月~平成25年10月)

○ 岩手県のからまつは保合状態。
 ○ 岩手県の価格は北海道より高く、平成25年10月では2,700円の差がある。

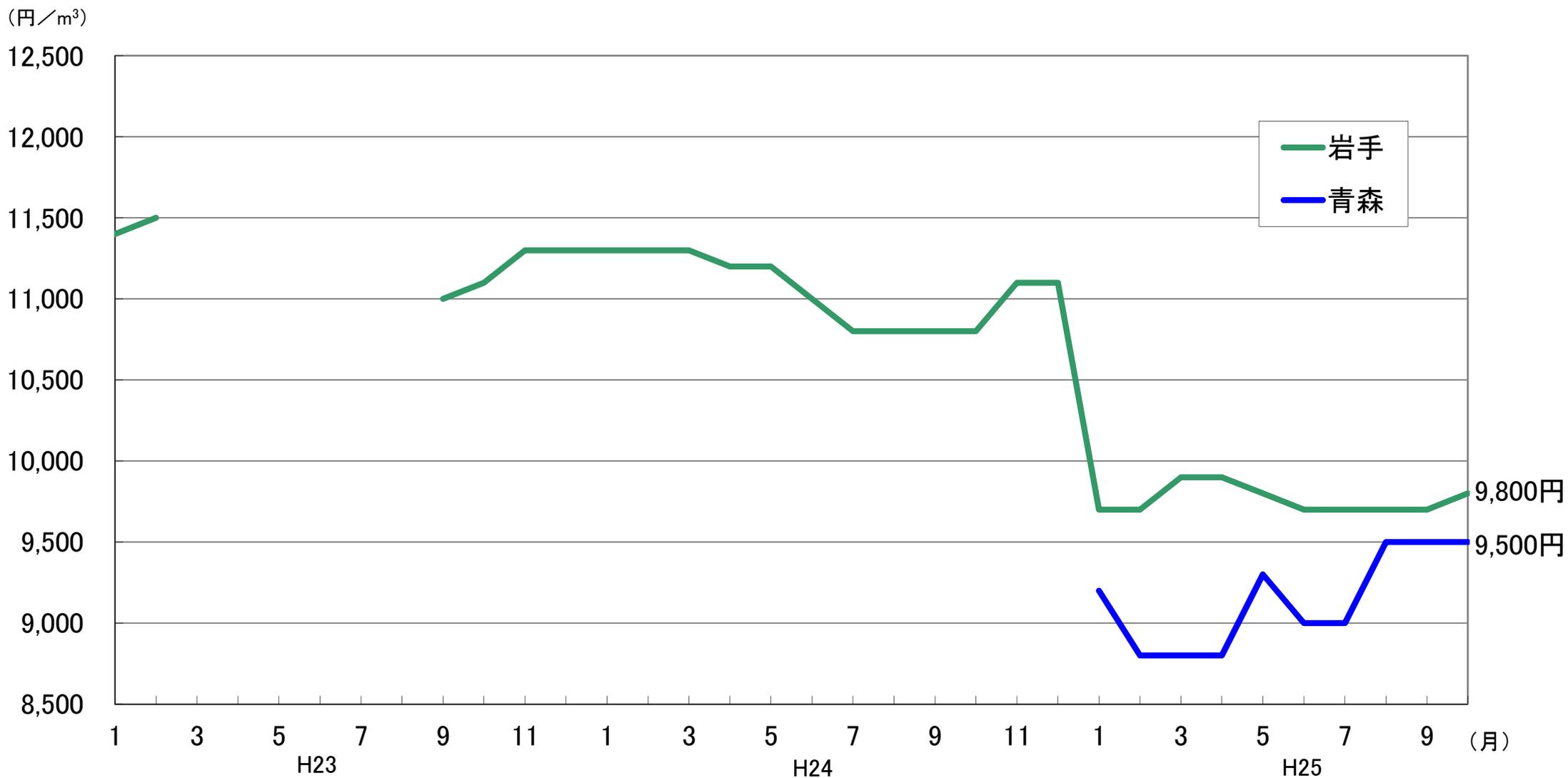


出典: 農林水産省 「木材需給報告書」、「木材価格」

※ 価格は工場着の価格。
 ※ 平成23年3月~8月は東日本大震災の影響で、岩手県のデータは未取得。
 ※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

丸太価格の推移 (まつ中丸太 3.65~4.00m、24~28cm、込み) (平成23年1月~平成25年10月)

○ 岩手県は保合。青森県は7月から8月にかけて500円上昇し、その後保合が持続。

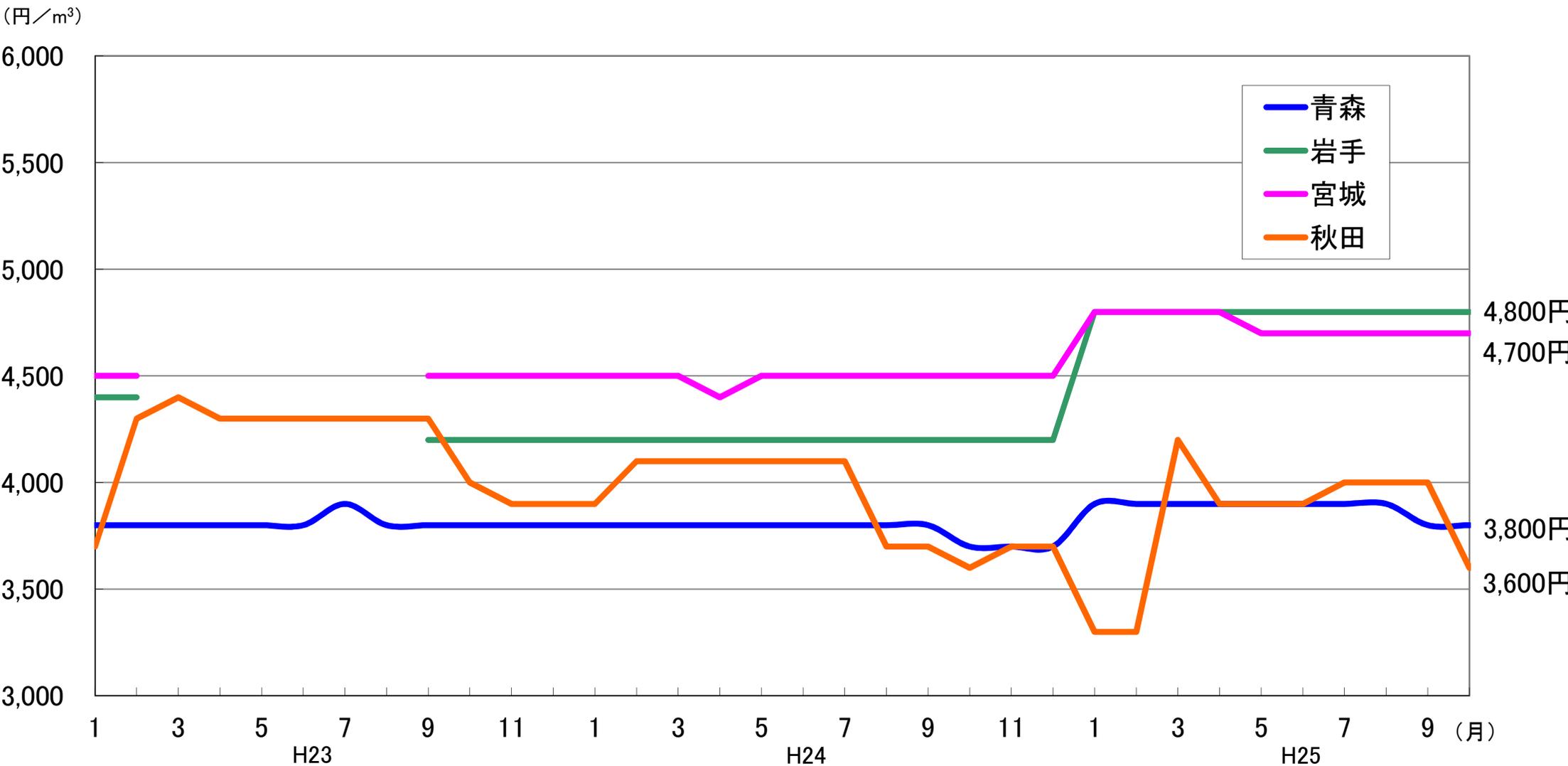


出典: 農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

- ※ 価格は工場着の価格。
- ※ 平成23年3月~8月は東日本大震災の影響で、岩手県のデータは未取得。
- ※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

針葉樹丸太(チップ向け)価格の推移 (平成23年1月～平成25年10月)

○ 秋田県は平成25年10月に400円下落したが、他県では保合が続いている。

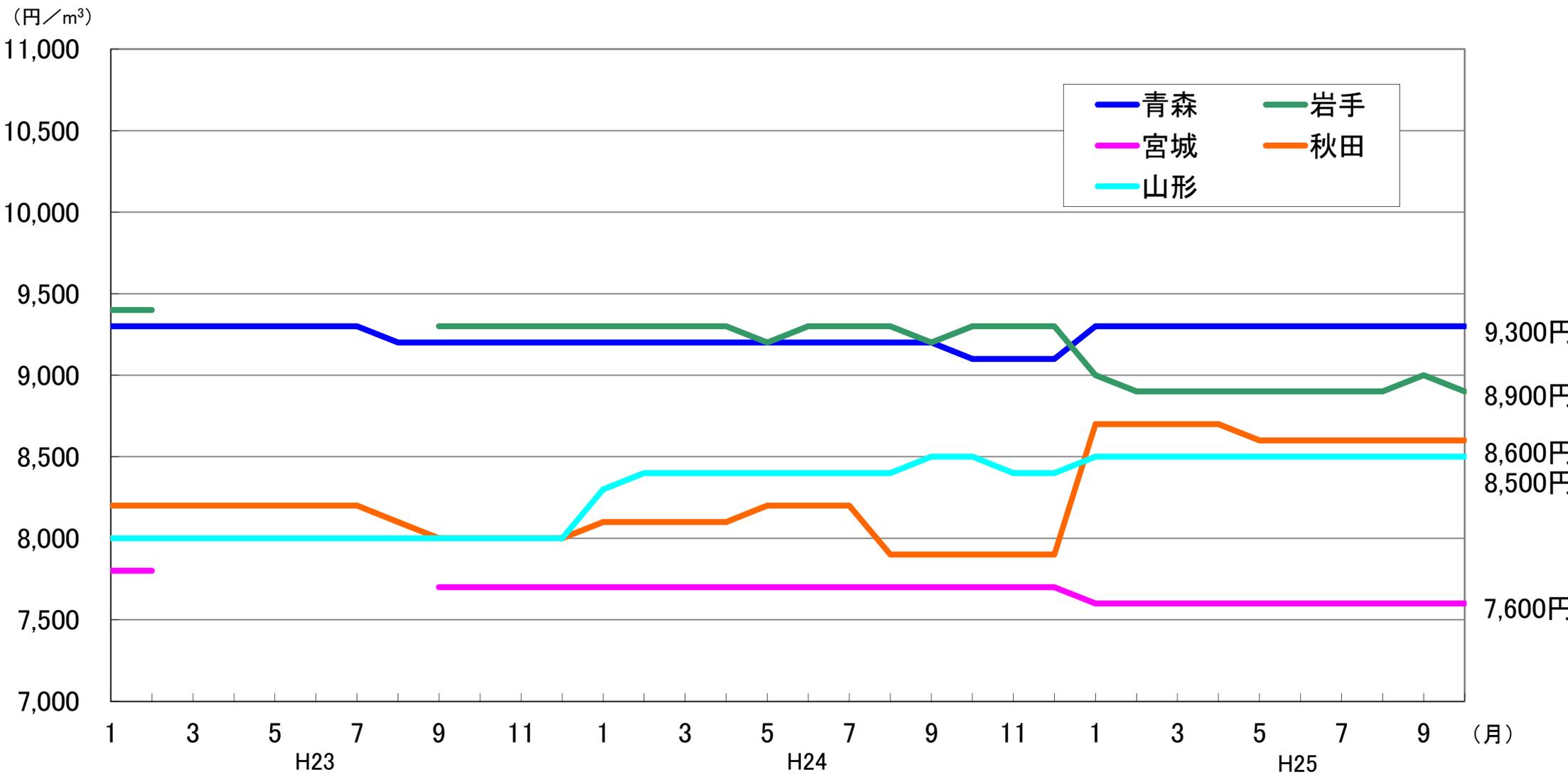


出典: 農林水産省 「木材需給報告書」、「木材価格」

※ 価格は工場着の価格。
 ※ 平成23年3月～8月は東日本大震災の影響で、岩手県、宮城県のデータは未取得。
 ※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

■ 広葉樹丸太(チップ向け)価格の推移 (平成23年1月～平成25年10月)

○ 各県ともに、長期的に保合状態が続いている。

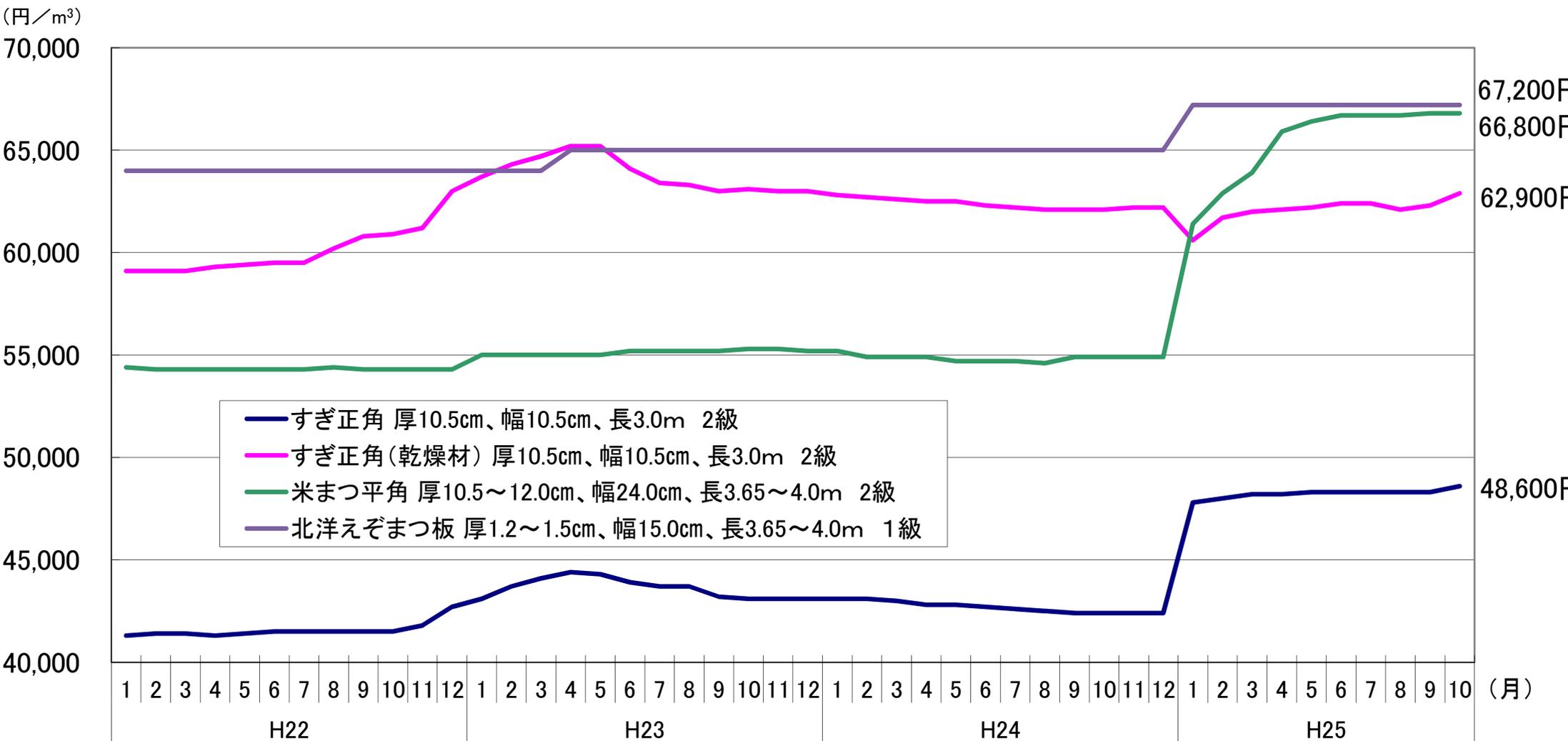


出典: 農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

※ 価格は工場着の価格。
 ※ 平成23年3月～8月は東日本大震災の影響で、岩手県、宮城県の詳細データは未取得。
 ※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

■ 全国の製材品主要品目価格の推移（平成22年1月～平成25年10月）

- すぎ正角、北洋えぞまつ板は保合状態。
- 米まつ平角は今年度の2月から6月頃まで上昇を続けた後、保合で推移。

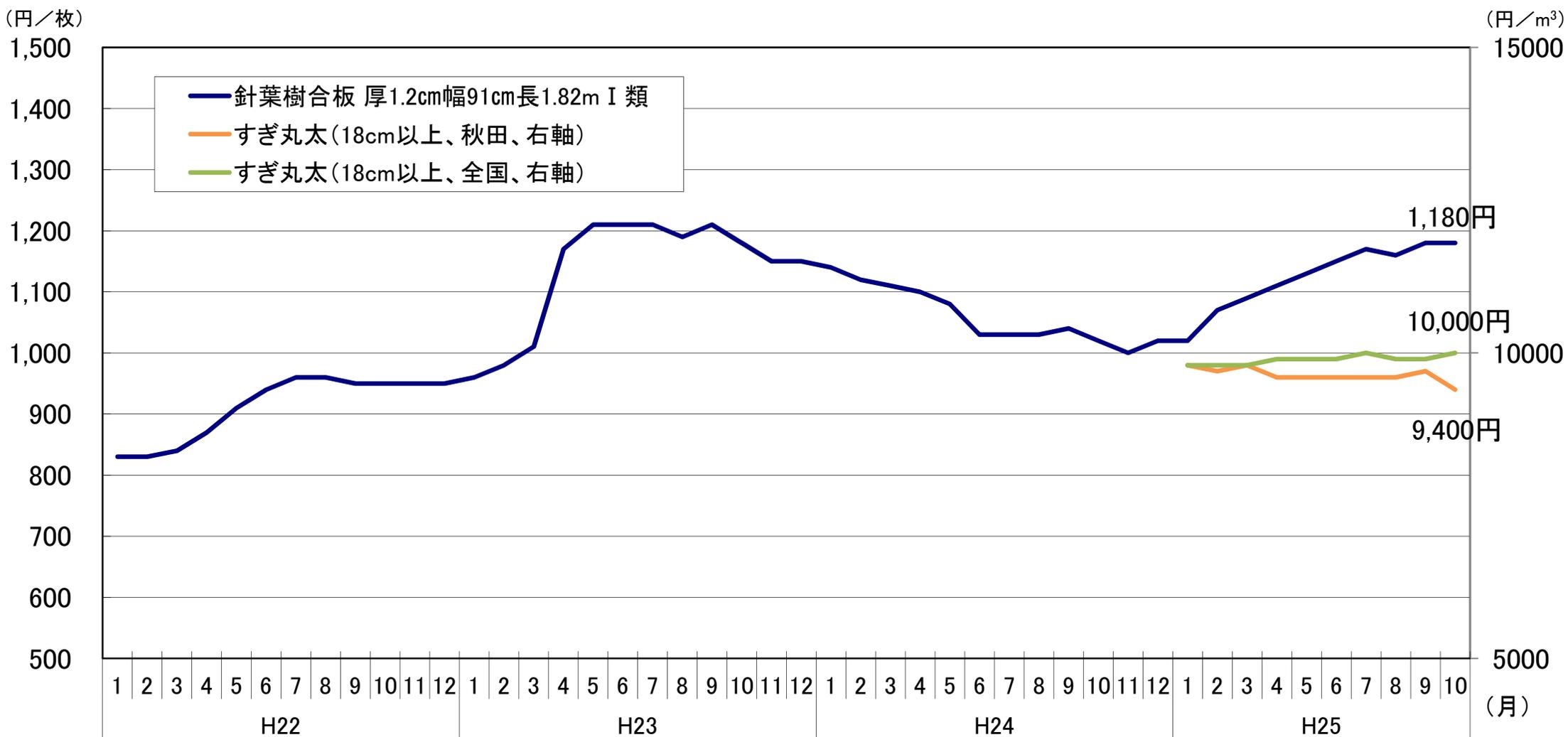


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

※ 価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し販売価格。
 ※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

■ 全国の合板、合板用素材価格の推移（平成22年1月～平成25年10月）

- 合板価格は平成25年1月から10月までに16%上昇したが、秋田県の合板用素材価格は4%下落。
- 第3四半期の合板価格は保合。

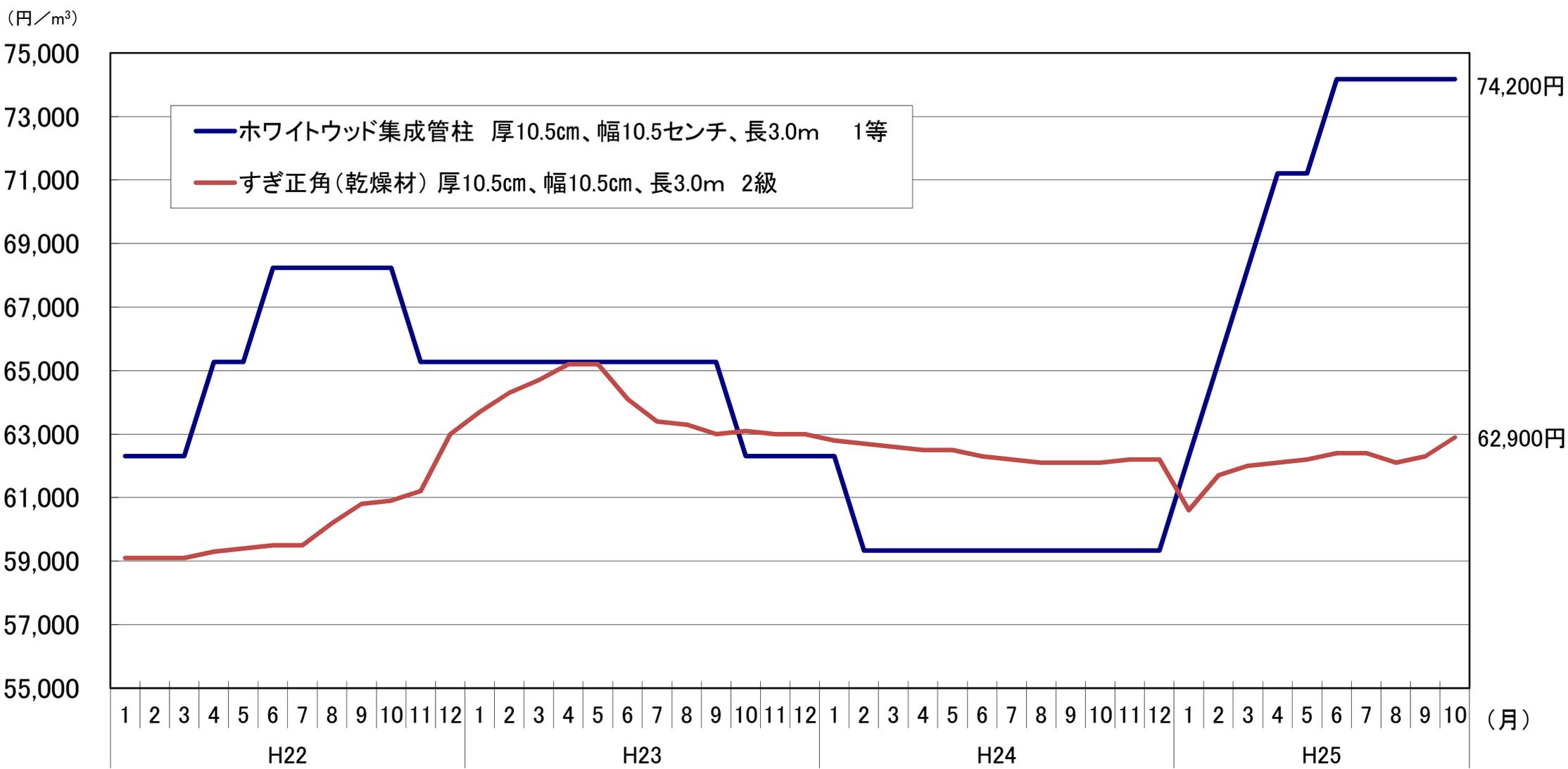


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

- ※ 価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し販売価格。
- ※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。
- ※ すぎの合板用素材価格はH25年1月から調査開始。

■ 集成材価格の推移（平成22年1月～平成25年10月）

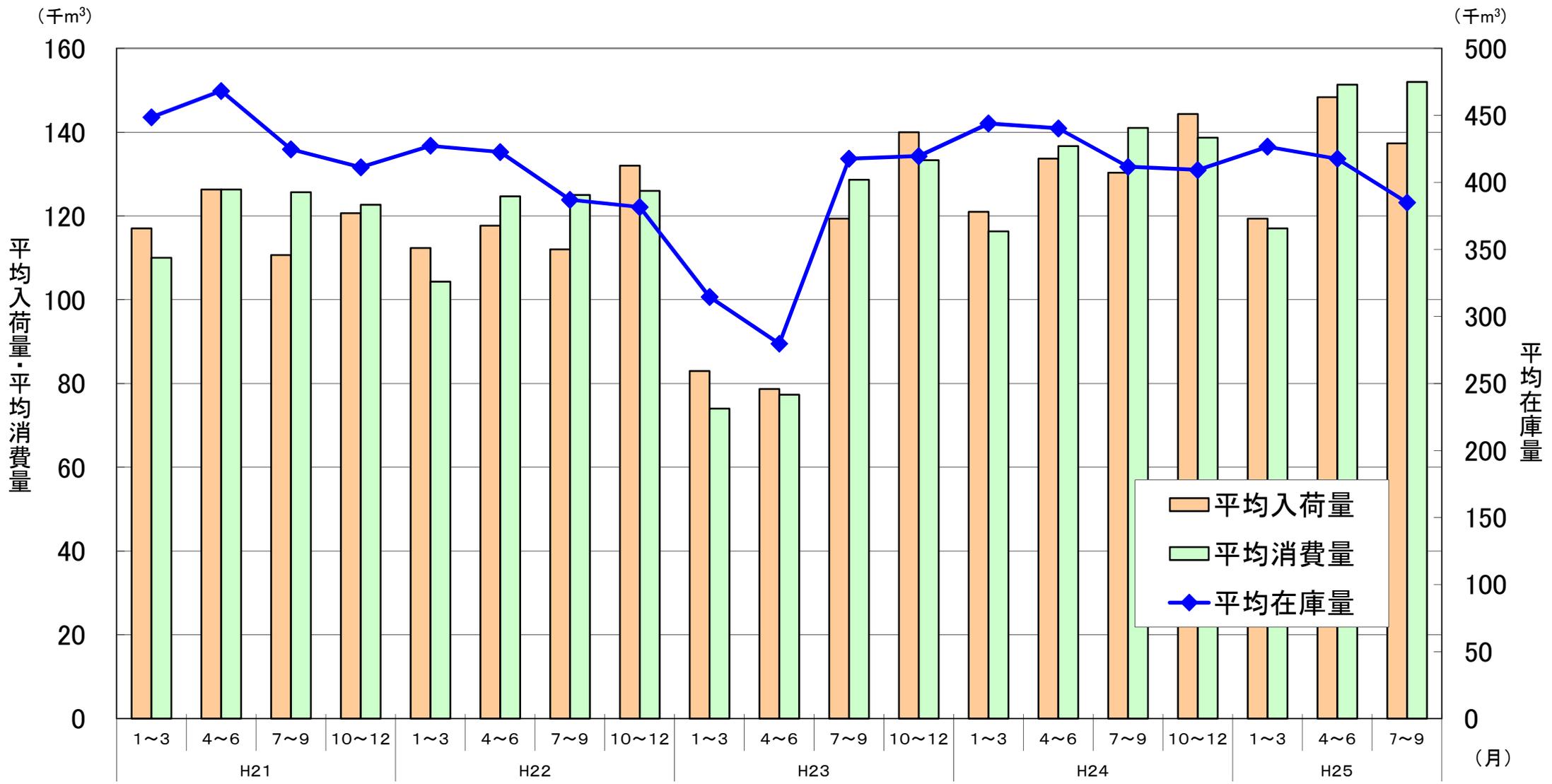
- ホワイトウッド集成管柱は1月から6月の間に約19%上昇。その後は保合で推移。
- 代替材料であるスギ正角（乾燥材）は1月から弱い上昇傾向が見られるが、おおむね保合で推移。



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」
 ※ 価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し販売価格。
 ※ 平成25年1月から調査方法を従来の単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。

■ 東北5県の製材用素材の平均入荷量・消費量・在庫量の推移（平成21年1月～平成25年9月）

○ 平成25年第3四半期の平均消費量は平成21年以降最高水準で推移したが、平均入荷量が減少したため、平均在庫量は平成22年第3四半期並まで減少した。

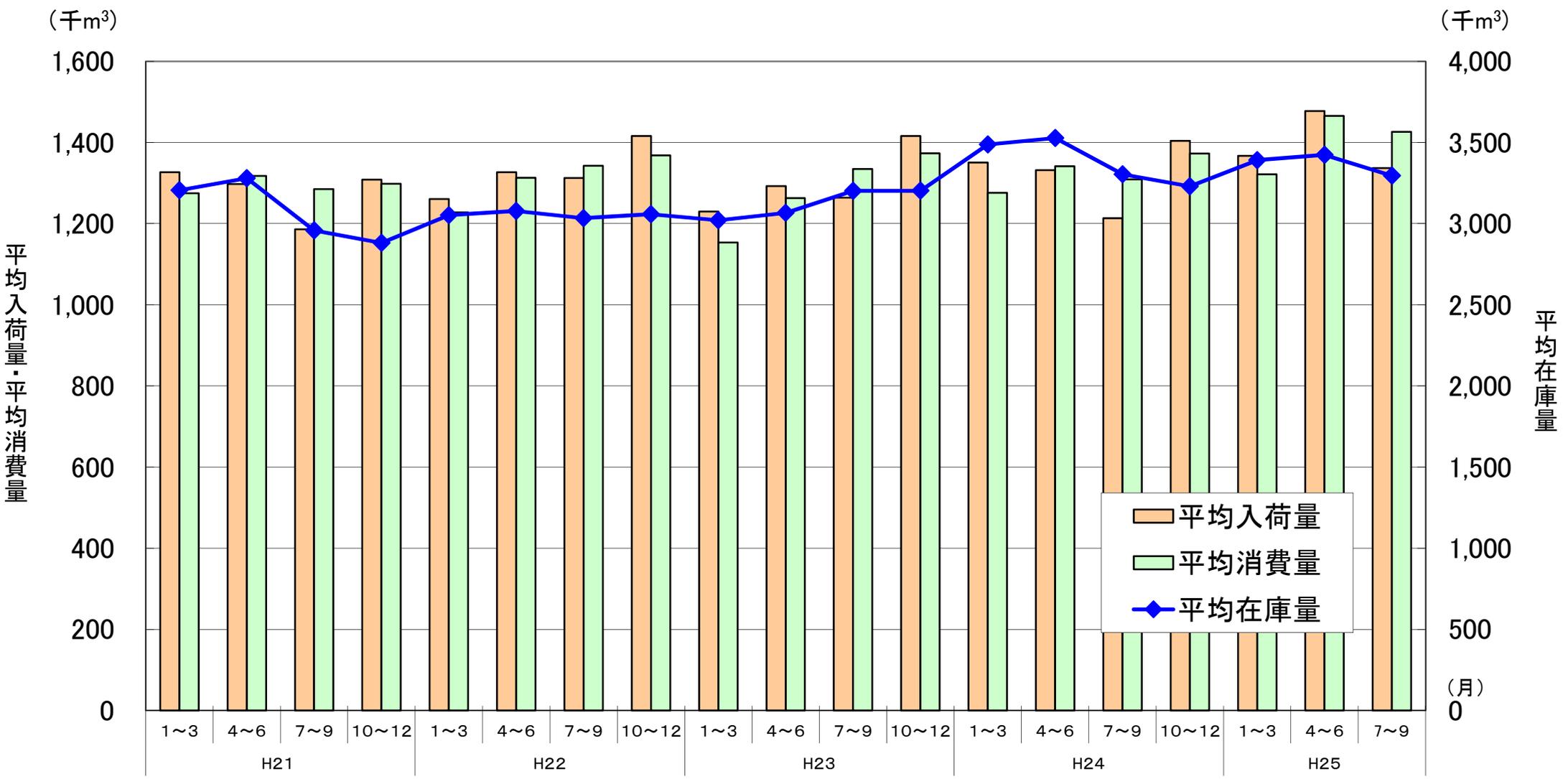


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 平成23年3月～8月は東日本大震災の影響で、岩手県、宮城県の詳細データは未取得。

■ 全国の製材用素材の平均入荷量・消費量・在庫量の推移（平成21年1月～平成25年9月）

- 平成25年第3四半期は第2四半期より平均入荷量・平均消費量とも減少したが、入荷量の落ち込みが大きく、在庫は減少した。
- 平成25年第3四半期の平均消費量は過去5カ年の同期間中最高水準となっている。



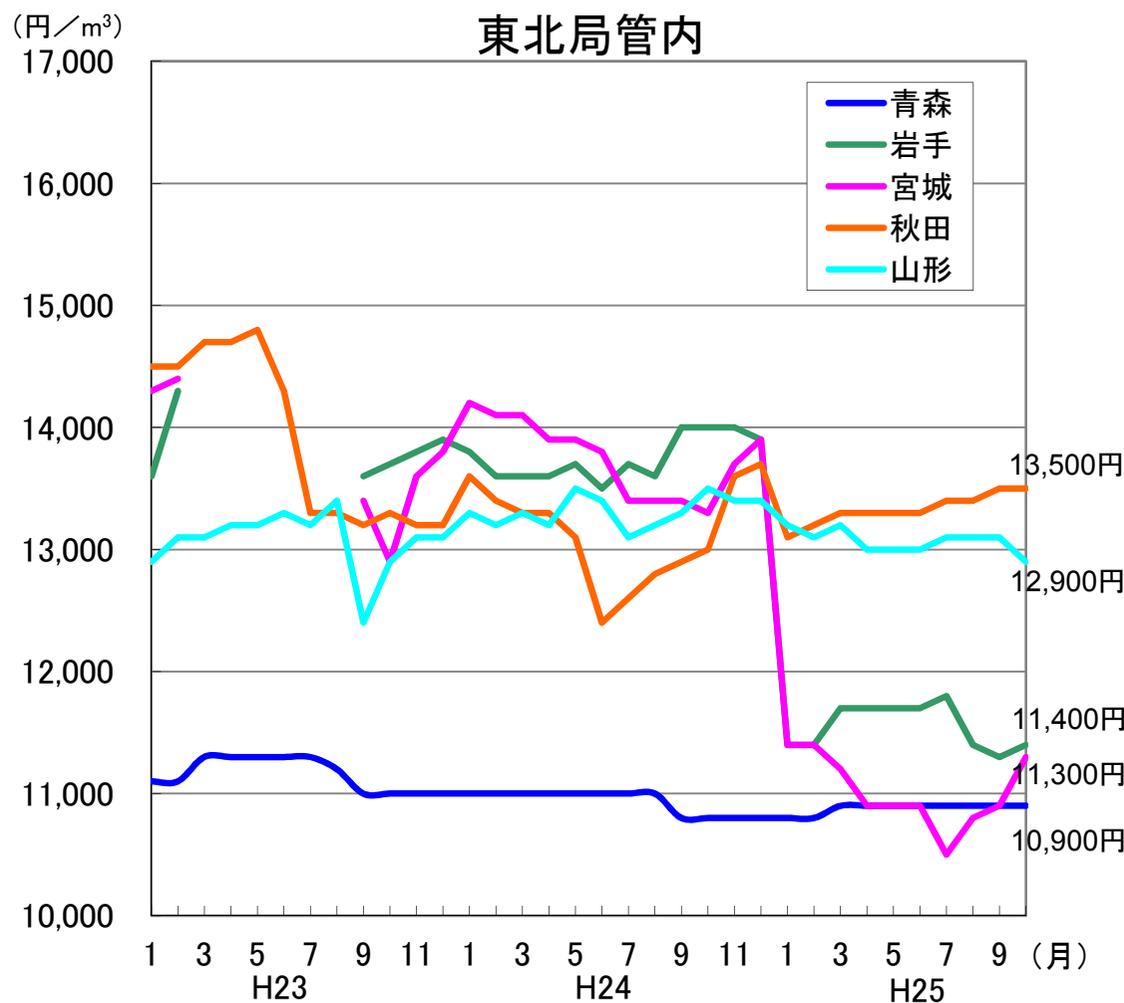
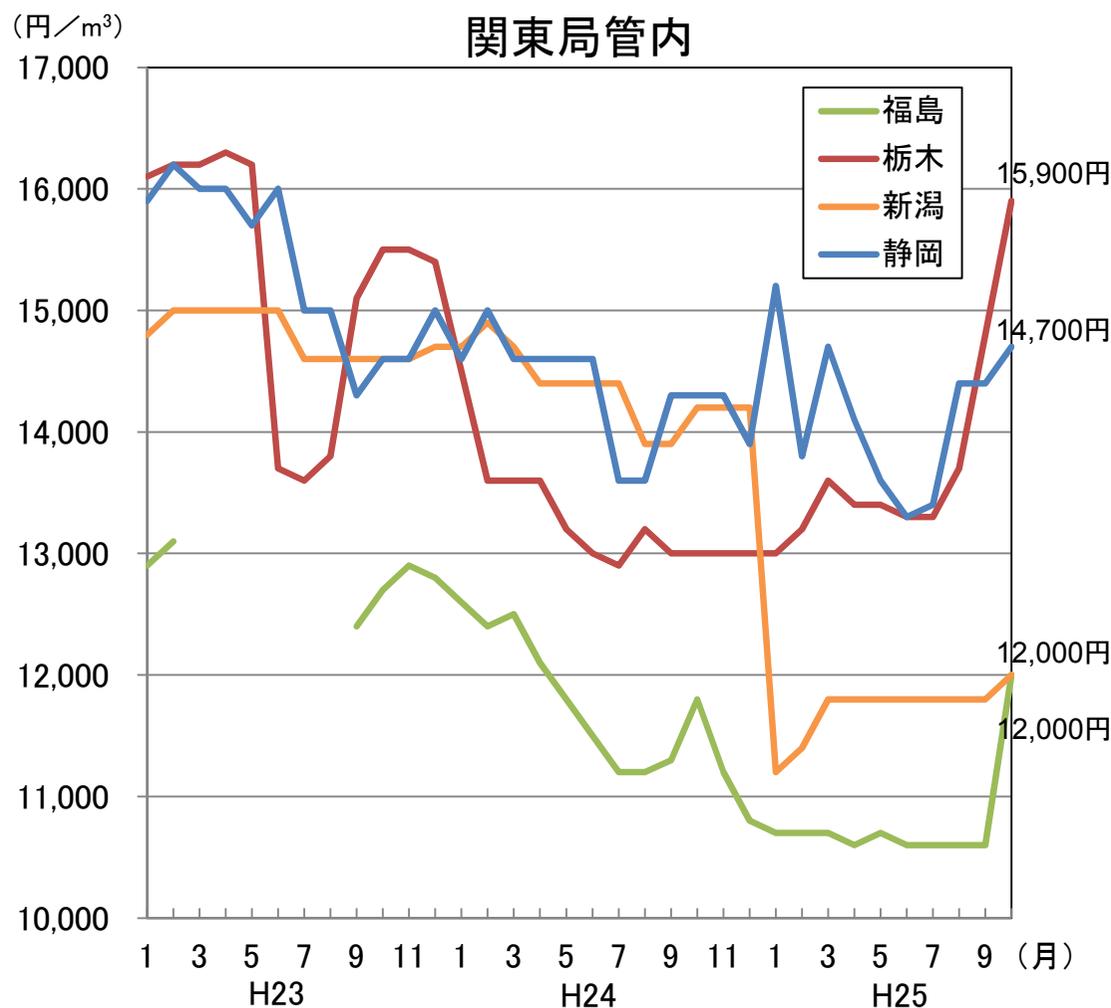
出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 平成23年3月～8月は東日本大震災の影響で、岩手県、宮城県の詳細データは未取得。

■ 関東局との木材価格の比較 (すぎ中丸太 3.65~4.00m、24~28cm、込み)

(平成23年1月~平成25年10月)

- 関東局では栃木県で平成25年に変動率が20.1%を記録したが、東北局では秋田県で平成23年に記録した11.4%が最大で、東北局5県の価格変動幅は関東局4県に比較して小さい。
- 関東局では栃木県で平成25年8~10月に2,200円、福島県で平成25年9~10月に1,400円上昇した。一方、東北局では宮城県で平成25年8~10月に500円上昇。



出典: 農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

※ 価格は工場着の価格。
 ※ 年間変動率 = (高値 - 安値) ÷ 仲値 × 100

※ 平成25年1月から調査方法を単純平均から加重平均に変更したため、それまでのデータとは連続しない。
 ※ 平成23年3月~8月は東日本大震災の影響で、岩手県、福島県のデータは未取得。